

会議要旨

会議の名称	令和7年度第1回川越市伝統的建造物群保存地区保存審議会
会議日時	令和7年11月17日（月） 午前10時00分 開会・午前11時20分 閉会
開催場所	川越市文化創造インキュベーション施設 コエトコ
議長（会長）氏名	会長 福川 裕一
出席者（委員）氏名	委員 溝尾 良隆、田口 陽子、佐藤 由美子、内田 幸彦、 長島 貴子、大塚 淳、隈倉 雄二郎、山川 直美、 原 知之、竹澤 穂治 10人
欠席者（委員）氏名	委員 秋山 純 1人
傍聴者	なし
事務局職員 職 氏名	都市景観課 課長 池田 麗子 副主幹 町田 順一 主査 河野 由季 主事 橋本 恵実 主事 溝口 結大
会議次第	1 開会 2 新任委員紹介 3 議題 4 報告事項 (1) 令和6年度伝建地区保存整備事務について (2) 令和6年度国庫補助事業について (3) 令和7年度国庫補助事業について 5 その他 6 閉会

議事の経過	
1 開会	
2 新任委員紹介	
3 議題	なし
4 報告事項	
(1) 令和6年度伝建地区保存整備事務について	事務局から、令和6年度の伝建地区保存整備事務について説明。
【委員からの主な意見、質問及び事務局からの回答】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状変更行為の「その他」とは具体的にどういうものか。 ➡ 例えば看板など、建築物にも工作物にも類しないものを「その他」として計上している。伝建地区では店舗の入れ替わりが激しいことから、件数としても多くなっている。他にも「その他」で計上しているものがあるが、事例としては看板が多くなっている。 	
(2) 令和6年度国庫補助事業について	事務局から、修理事業5件について報告。
【委員からの主な意見、質問及び事務局からの回答】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助事業で使用される材料について、耐火性能等の考慮はなされているか。伝建地区は歴史を重んじる地区であるため、どうしても耐火については逆行してしまっているように感じる。 ➡ 材料や工法については既存の状況を踏襲しつつ、耐火面も含め、少しでも性能の高いものを使うということで進めている。また、伝建地区に整備している簡易型屋外消火栓を使用することで早急な対策ができるような形を取っている。 ・ 復原修理の際にはいつの時点に戻すことを原則としているのか。 ➡ 当市の伝建地区には江戸から昭和に至るまでの様々な建築様式の建造物が残っていることから、基準点は設けずに1件1件個別に判断している。意匠的に優れたものを伝統的建造物に特定していることから、その建物が最も優れていた時点への復原というのも考え方の1つである。 	
(3) 令和7年度国庫補助事業について	事務局から、修理事業5件について報告。
【委員からの主な意見、質問及び事務局からの回答】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 瓦葺き替えの際に、従来からの土葺きをそのまま継承するパターンと桟葺きに変えるパターンの違いは。 ➡ なるべく従来の土葺きのままにするようお願いしているが、全体の損傷が著しく、屋根の重量が問題となっている建物に関しては、加重を和らげるという意味で桟葺きを認めている。 ・ 川越市への修理要望の倍率はどれくらいか。また、建物は今後さらに劣 	

化していくため、継続的に修繕を行う必要があることを踏まえると件数は増えていくものだと思うが、今後の補助金を含めた計画等の見通しがあれば教えてほしい。

➡ 倍率を出すのは難しい。年々予算の確保が難しい状況である。今後も文化庁から支援をいただけるとしても、財政は厳しい状態が続くと見られる。今後は今年度作成したチェックリストをもとに、緊急性のあるものは優先度を高めていく必要があると考えている。

5 その他

【事務局から報告】

- ・ 伝建地区で起きた、いたずらの事案について

【委員からの主な意見】

- ・ 幸町駐車場と小林斗盦氏住宅の跡地利用について、観光課主導ではなく、都市景観課、文化財保護課とも連携し、住民を含めた検討会を開くなど伝建地区全体の問題として、審議・検討してほしい。
- ・ 川越町並み委員会は強制力がないため、提案をしても、業者や施主側から予算的にここまでしか譲歩できないと言われてしまうケースが増えている。また、移動販売や看板の設置など、基準が曖昧になってしまっている。
- ・ コロナ渦を経て商店街やテナント、客層も変わってくる中で、改めて昔を知っている方数名というよりも、全体でもう少し底上げするというような動きが、今後の町並みを守るうえで必要である。

6 閉会